

(「一寸先は光です」)

校長だより

平成29年7月5日(水)

第9号

「我が子を入れたくなる学校をつくりたい」(初代校長)

那覇西高等学校長 長濱 雅仁

期末考査(6月28日~7月3日)無事終了。いよいよ那覇西山が噴火します！

各教室、図書館、進路学習室、視聴覚教室等で自学自習、アクティブラーニング型の集団学習に全力投球された生徒の皆さん、お疲れ様でした。(ホッ!) 今後は、高校総体を終えた1、2年生はもとより、九州・全国大会の県代表の座を勝ち取った皆さんは、これから「文武両道」でさらにグレードアップした猛練習に励み、是非、先輩方の残した輝かしい伝統を繋いでほしいと思います。全国各地からその会場に本校OBが足を運んでくれるはずです。今日も練習場に顧問が、「JET化」です!

◎生徒会長選挙：立候補者3名は次のとおり。眞喜志鈴さん(2-7)小濱拓斗君(2-3)壽龍之介君(2-1)本校のさらなる活性化に向けて頑張りましょう。清き一票、真剣な一票をよろしくお願いいたします。

◆大会・コンクール等結果

- ・九州ジュニア柔道大会阿部星乃(3-9)1回戦延長で惜しくも敗れる。その頑張りが後輩へ引き継がれます。
- ・九州大会総体水球競技(7/7~9)於大分県立大分商業プール 優勝目指して頑張ってください!
- ・九州高校総体リトニクス大会(7/7~9)於会津総合運動公園テニスコート 優勝目指して頑張ってください!

○校内外の小さな変化・成果に気がついたでしょうか? 「チーム那覇西」は今も躍動しています!

- ・ホワイトデー7/3~7/13 「平安山」(へんざん)が大噴火の予兆あり。生徒指導部ただ今、全員「マグマ大使」化して、指導部で待機中です。溶岩注意報発令中ですぞ!ウグ!
- ・図書館玄関口、入口周辺の「慰霊の日」特設コーナーで、当時の写真展をはじめ、多くの生徒の皆さんで仕上げた壁新聞、感想等が展示されています。沖縄の先人が必死でつないだ命の尊さ、感じてください!
- ・この炎天下で校内の剪定作業、グラウンド草取り作業に黙々と励んでいただいた用務の知念さん、体育科主任の赤嶺永哲先生、與那嶺直樹先生お疲れ様でした。常に「人のために」何か感謝されることを続けた人間はやがて「心の体幹」が築かれ、大物になるのではないのでしょうか。
- ・ところで、本校の初代バドミントン部の顧問であった知念孝先生は、その後、与勝高校の校長となりました。特筆すべきは、「清掃活動」の徹底を掲げ、学校の活性化に努めたということです。その伝統は今なお、脈々と引き継がれているとのこと。退職後は理容師として地域貢献なされたそうです。

◆◆◆◆◆◆◆ 高校総体終了!これまで積み上げてきたものは何? ◆◆◆◆◆◆◆

「巨人・大鵬・卵焼き」

1960年代、当時の子供たちの好きな物を並べた「巨人・大鵬・卵焼き」という流行語は、当時の大鵬の人気と知名度を象徴する有名な言葉です。大鵬は、優勝32回(6連覇2回)・45連勝などを記録したことから昭和の大横綱と称され、戦後最強の横綱と呼ばれています。

大鵬の本名は納谷幸喜(なや こうき)といい、出身は北海道(出生地は樺太)。母子家庭だったことから生活は大変貧しく、家計を助けるため納豆を売り歩いていた話は有名です。中学校では壊れた椅子や机を修理したり、人が気づかないことを黙々と続け、校長先生から卒業式に表彰を受けたそうです。中学校卒業後は、定時制高校に通いながら、林野庁関係の仕事をしていましたが、二所ノ関一行が巡業に来た時に紹介され、高校を中途退学して入門した(入門を強く反対していた叔父が母親を説得)。親方から人の何倍もの稽古を課せられ、その内容の一つが「1日に鉄砲2,000回、四股500回」であった。入幕した年に大関昇進を果たしたことから「大鵬は天才」と噂されたそうですが、その話を聞いた際に「自分は人の何倍も努力した人間だ。」と反論していたとのこと。2009年、相撲界から初となる文化功労者に選出された際にも「私一人の力でなく、皆さんの力添えがあったからこそです。本当に有り難いことです。」と謙虚に喜びを語りました。